

# 愛知民報

2016年  
5月1日  
第2303号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目 12番 25号  
愛知あかつき会館内  
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063  
定価 月 400円 郵送料 164円 1部 100円  
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)  
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を  
周りの人に



扶桑町議選で当選した小林明、高木義道の両氏=24日深夜

## 扶桑町議選



碧南市議選で当選した山口春美、岡本守正、磯貝明彦の3氏=24日深夜

## 参院選の前哨戦

# 共産党全勝

7月の参院選の前哨戦として空前の激戦となつた4月24日投開票の碧南市では、現職と新人の交代に成功しました。今年2月の弥富市議選と合わせると3連勝。安倍政権への痛打です。

日本共産党候補は、安倍政権の悪政から住民を守る「防波堤」になると強調。暮らし応援の市政・町政の実現

扶桑町では、児童館建設、巡回バス新設、小中学校教室のエアコン設置など具体的な政策をかけました。

## 「エアコン」コール

日本共産党がおこなつた住民アンケートで、多数が「暮らし向きが苦しくなつた」と答えていました。アベノミクスの破たんは住民の生活実感です。

一方、自民党は動搖する支持基盤の縮めつけに躍起。同党的碧南支部は市議会(定数22)の過半数となる13人の

議選とも、参院選や衆院選と一体の「自共対決」の激しい選挙戦になりました。日本共産党は、戦争法反対やアベノミクス批判の多数世論を受け、「安倍政権退場、戦争法廃止、憲法を生かす政治」と訴えました。碧南市では2千数百人の戦争法廃止署名が集まりました。

## 「自共対決」の激戦

# 安倍政権に痛打

日本共産党候補の街頭演説に、児童・生徒から「エアコン、エア

河地震、扶桑町は1891年の濃尾地震で大きな被害を受けた経験があります。

選挙の告示直前に、熊本などの九州地方地震が発生。日本共産党候補は街頭で、被災者救援活動を呼びかけました。碧南市は1944、45年の東南海地震と3回より得票を減らしました。

## 熊本地震災救援

## 迫る参院選 跳進へ弾み

日本共産党の、すやすや初美愛知選挙区候補

(写真右)は、碧南市と扶桑町に入りました。

「共産党の議員は地方政府議会でも国会でも政治を動かす確かな力です。暴走政治ストップ、暮らし・福祉の願いはござつて共産党へ」と気迫の演説をおこないました。

参院選の前哨戦として激戦となつた2つの選挙での共産党の全員当選は参院選躍進への弾みになります。

**日本共産党 志位和夫委員長 街頭演説会**  
**5月22日(日)午後3時 名古屋駅東口 大名古屋ビルディング前**

碧南市議選